

コバンムシ *Ilyocoris cimicoides exclamationis* (Scott)

【選定理由】

全国的に産地は局所的である。浮葉植物が豊富な湖沼に生息しているが、徐々に良好な池が少なくなっており、その生息が危惧されている。

【形態】

体長は 11~13mm。体型は扁平で小判型をしている。生時の体色は美しい淡緑色であるが、死後は黄変する。前脚は鎌状で、腿節は特に太い。

【分布の概要】

【県内の分布】

瀬戸市定光寺、名古屋市港区、名古屋城の堀などの記録がある。

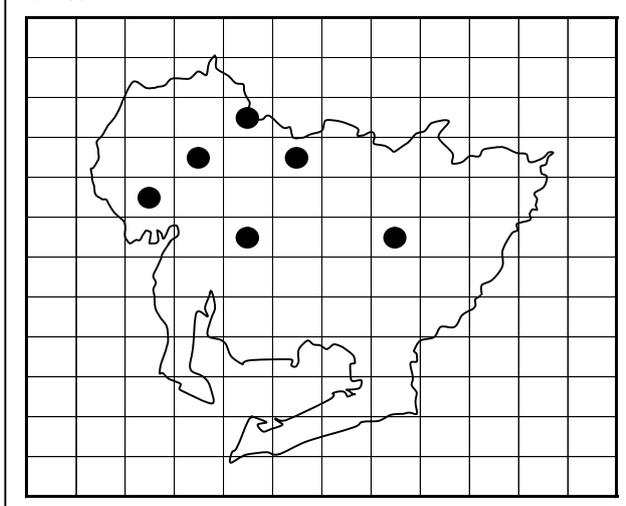
【国内の分布】

本州、九州。

【世界の分布】

韓国。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

平地から丘陵地のヒシ、ヒルムシロなどが繁茂する溜め池などに生息している。ヒシの浮囊などに産卵することが知られている。

【現在の生息状況／減少の要因】

近年、県内で複数の生息地が確認されているが、いずれも個体数は少なく、非常に危機的な状況にある (矢崎, 2016)。国内でも残された産地は極めて少数である。ヒシ等の浮葉植物が繁茂しているにもかかわらずオオクチバスなどの外来魚が入り込んでおり、確認できていない。水質悪化や外来魚による捕食圧などによって減少したと考えられる。

【保全上の留意点】

溜め池の水質管理や水草の保護に留意し、周辺環境も含めた水源確保にも気をつける必要がある。また、外来魚の駆除も積極的に行う必要がある。

水草に産卵するため、コイや水草など水生生物の移植により、それまで確認されなかった場所に突如として発生する事例が示唆されている (川野, 2006)。安易な移植行為は慎むべきで、記録の取り扱いにも考慮する必要があると考えられる。

【引用文献】

川野敬介, 2006. コバンムシの山口県からの初記録. *Rostria*, (52): 59-60.
矢崎充彦, 2016. 10 カメムシ目. 豊田市生物調査報告書<分冊その2>: 66-85. 豊田市, 愛知.

【関連文献】

浅岡孝知・家城 司, 1990. 愛知県の異翅目. 愛知県の昆虫, (上): 123-162. 愛知県.
林 正美・宮本正一, 2018. 半翅目 Hemiptera. 日本産水生昆虫 科・属・種への検索 (第二版): 329-427. 東海大学出版会, 神奈川.
矢崎充彦・石田和男, 2008. 東海地方の水生半翅類. 佳香蝶, 60 (234): 165-200.

(澤田宗一郎)